

1. 地域情報

圏域	(主な町名) 紫山1丁目～5丁目				
	(連合町内会)		紫山連合町内会		
	(学区)		寺岡小学校、寺岡中学校		
	(地域包括支援センター)		寺岡地域包括支援センター		
人口※1	5,359人	高齢者数 ※1	847人	高齢化率※1	15.81%
世帯数※1	1,922世帯	未就学児数※1	175人		
地区の概況	平成9年から分譲が開始され、平成16年に紫山連合町内会、平成24年度に1～5丁目まで単位町内会が成立しました。近年世帯数や人口増加が顕著となり、特に35～49歳までの年代が人口2割を占める、比較的若い団地です。				
地域資源 (関係団体、施設、連絡会等)	単位町内会	紫山1丁目町内会、紫山2丁目町内会、紫山3丁目町内会 紫山4丁目町内会、紫山5丁目町内会			
	地域活動団体 (町内会除く)	泉パークタウン地区民生委員児童委員協議会 子ども会(3団体)、紫山公園愛護協力会、紫山植栽帯管理組合			
	NPO ボランティア団体				
	高齢者関係施設等	寺岡地域包括支援センター			
	障がい者関係施設等				
	子供関係施設等				
	教育機関				
	市民利用施設	紫山1丁目～5丁目各集会所(5集会所)、寺岡市民センター			
	その他				

※1 令和6年4月1日現在の「仙台市町名別年齢(各歳)別住民基本台帳人口」の町名ごとに集計されているデータを、その町名を主に活動圏域とする地区社協ごとに累計したものです。詳細な地区社協活動圏域(街区符号・住居番号)による累計ではありません。

2. 地区社協の体制

結成年月日	平成26年4月27日			
社協会員数	普通会員 1,648名 特別賛助会員 0名 ※令和5年度実績			
会 長	氏 名	遠藤 須賀子	就任年月日	令和5年5月20日
	兼務の状況			
組織体制	(役員体制) 会長1名 副会長2名 理事7名 役員13名 監事2名 会計2名 (理事兼任) 地域福祉活動推進員1名(副会長兼任) 役員23名 (活動者) 89名 (活動者呼称) 福祉協力員			
主な活動拠点	有→	(名 称) 紫山1丁目集会所		
	無→	(主な活動場所) 紫山5丁目集会所		

紫 山 地区社会福祉協議会

3. 小地域福祉ネットワーク活動

推進体制の概要	役員会、各部会（広報・総務・事業）		
会議・研修	○役員会（全役員） 隔月 ○理事会 隔月 ○三役会 必要に応じて随時 ○各部会 必要に応じて随時		
活動の概要 〔令和5年度実績〕	安否確認活動	生活支援活動	サロン活動
	実施対象世帯（実数）	実施対象世帯（実数）※2	実施回数
	0世帯	0世帯	87回
	（内訳）	（内訳）	延べ参加数
	一人暮らし高齢者世帯	一人暮らし高齢者世帯	1,655人
	日中独居高齢者世帯	日中独居高齢者世帯	（対象）
	高齢夫婦世帯	高齢夫婦世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者
	その他の高齢者がいる世帯	その他の高齢者がいる世帯	<input type="checkbox"/> 障害者
	障がい者のいる世帯	障がい者のいる世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て中の親（子）
	子供のいる世帯	子供のいる世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども
その他の世帯	その他の世帯	<input checked="" type="checkbox"/> その他	
実施回数（延べ）	実施回数（延べ）	※定期的に開催しているサロン等は、別紙「主なサロンの開催状況一覧」参照	
0回	0回		
主な支援内容	主な支援内容		
〔 〕	〔 〕		

※2 生活支援活動の実施対象世帯数は、下半期（10月～3月）における実績。

4. 広報など

広報紙等	広報紙の名称	紫山地区社協だより	発行頻度	年 11 回
	発行部数・配布方法等	189部/1回 全戸回覧 町内会各班		
	その他の広報	○各サロン活動案内 ○研修会、講演会等の案内 ○行事、文化祭に社協活動のパネルを展示		

5. その他の活動

活動・取り組みの概要	○連合の秋祭りに参加。（連携） ○泉パークタウン5地区社協の交流会。 ○各町内会の芋煮会及びもちつき大会に共催（高齢者ふれあいサロンの一環）。 ○健康増進や情報交換の場となるラジオ体操会、すみれ体操、麻雀、囲碁サロン会活動の推進。
------------	--

6. 地区社協活動の特徴

若い年代の世帯が多いため、子育てサロン、子育て支援を数多くとり入れています。また、ふれあいサロンを通じて地域の世代間交流と活性化を進めています。

地区社協を設立して11年目になり、アンケート結果などにより地域の「ニーズ」に応えるとともに「地区社協の必要性」を理解してもらえるように活動しています。